

第2回清水町総合計画審議会（書面会議）について提出された意見に対する考え方

【意見等の概要及び意見等に対する町の考え方】

●第6期清水町総合計画の実施計画について

No.	提出された意見等の概要	提出された意見等に対する町の考え方
1	第1編 第4章 防犯対策の強化（P1） 基本的方向 3. 空家等に必要な対策を講じます →「地権者との話し合いがうまくいかず手がつけられない」との説明が多かったと記憶しているが、具体的な政策は？	令和3年度清水町空家等対策計画を策定しました。空家等対策の推進に関する特別措置法及び町の計画に基づき、予防対策を行っていくとともに、空家等の危険度等に応じ、指導、勧告、命令、代執行などの対応を行っていきます。
2	第1編 第6章 消費生活の安心（P2） 基本的方向 2. 自ら考え判断できる能力を育成する授業や講座を開催し、児童生徒の段階から消費者意識を醸成します。 →児童生徒に「投資とか株」を教えると言う事か？	消費行動についての知識やモラル、詐欺等の犯罪への対応、クーリングオフなど、社会の中で生き抜いていくために必要な消費者意識について、成長段階に合わせた取り組みを進めていきます。
3	第2編 第4章 安心のある生活への支援（P4） 事業名 就学支援事業 →具体的には？	世帯収入が少ないなど経済的な理由により、就学への支援が必要な児童生徒の保護者に対し、入学準備金・学用品費・学校給食費などの援助金（就学奨励費）を支給しています。なお、本町における支給対象となる世帯収入基準は、生活保護基準の1.3倍としています。
4	第2編 第5章 切れ目ない子育て支援の充実（P4） 事業名 不妊・不育症治療費助成事業 →以前の会議で意見させていただいた治療費のみではなく「生活費」（有給での対応が難しい場合）や「対象社員を抱える企業への支援」（有給の取得や人的な経費が発生した場合）は？	不妊治療と仕事の両立に向けて、不妊治療休暇の創設の人事院勧告があり、本町でも令和4年から休暇制度の導入を予定しており、今後、取り組みが社会全体に広がっていくと思われます。また、事業主への支援策として、国において、不妊治療と仕事の両立支援等助成金の支給が行われています。
5	第3編 第3章 文化芸術活動の推進（P5） 事業名 文化芸術振興事業 →年間2万5千円の予算で何をするのか？	事業予算では、昭和62年から実施している町民絵画展、ゆかりの画家個展、道内美術館見学会を引き続き行います。
6	第4編 第3章 商店街のにぎわい創出（P8） 事業名 商工振興一般事務 →各年で23万円と16万円が交互に予算されているのはなぜか。	1年おきに、融資斡旋に必要な書類を印刷するためのものです。

7	第4編 第4章 地域の潤いにつながる交流の展開 (P8) 事業名 開町120年清水公園花火大会(事業再検討) →800万の予算で花火をするのか?	数年前からの事業シートであるため、総合計画のローリング時に見直す旨、協議をしています。開町120年時は、現在、実施している商工会青年部による花火大会に、予算を上乗せ支援して実施する方向で考えています。
8	第5編 第4章 人が集い憩える公園・緑地の維持 (P9) 事業名 清水公園再整備事業 →令和4年の予算が0だが何もやらないのか?	令和4年度については、地下通路照明や、ドッグランの機能強化等、小規模修繕を実施予定です。パークゴルフ場を含むその他の大規模な事業については、新体育館建設に伴う、現体育館跡地利用と一体に検討いたします。
9	第5編 第6章 移住・定住と交流 →家賃補助、住宅建設補助と合わせ、創業希望の方に対する物件紹介や補助、町内の人員募集企業等をワンセットで案内・情報発信できる仕組みをつくるなどして、実現可能性の高い移住・定住の促進が図られることを期待しています。	現在、移住業務は建設業協会に委託して実施していますが、今年度中に組織を見直し、清水町に移住してきた方のネットワークを加え、住宅、雇用、コミュニティの3部会が存在する協議会を設立する予定です。新年度からは雇用対策として、商工会、町内事業所に協力を仰ぎ、町内就職相談会を実施予定です。
10	第6編 第5章 持続可能な行財政運営 (P11) 基本的方向 2. 新たな行政課題や多様化する町民ニーズに対応できる、柔軟で合理的な組織構築と幅広い視野と発想力でチャレンジする職員を育成します。 →どう育成するのか?具体的には?すごく期待しています。	職員の育成については、各種研修会への職員の参加や、北海道等への派遣研修を行っているところです。今後も、計画的、継続的に人材の育成を図っていかねばなりません。職場環境を整え、管理職をはじめ、すべての職員が積極的に研修に参加し、自己研鑽に励み、地域の課題に対応できるスキルが身に付くよう、研修内容等を工夫しながら、人材の育成に取り組んでいきます。

●道の駅について

No.	提出された意見等の概要	提出された意見等に対する町の考え方
11	基本的な考え方(長期の期間で考え、10年~30年先を見て) ・清水の認知度を高める施設として ・清水の良さを発信できる拠点として ・清水に来て、寄ってもらえる施設として	情報発信拠点であることはもちろん、地域で生活していく上で、不足している社会資源を補う機能をもたせたいと考えています。清水町の魅力ある商品の販売と合わせて、今後人口減少が進み、小売り店舗等も

	<ul style="list-style-type: none"> ・産業・観光・スポーツ・遊び・癒しのリンクした拠点として 	減少してくることから、生鮮食品や日用品等が気軽に求められる機能が必要です。
12	<p>道の駅の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設として本体施設は最初から馬鹿でかいものは良くない。 ・独立した清潔なトイレの確保 ・駐車場は広く大きく、イベントも可能とする ・国道沿いで入りやすい場所、車両利用者が多いので少し遠くても可 ・小さくても「渋沢栄一翁」の記念館的なものを併設する 	身の丈にあった、小さくても質の高い施設である必要があります。維持管理に係るエネルギー面においても、脱炭素を意識した持続可能な施設にしていきたいと考えています。魅力ある食をPRするとともに、渋沢翁や第九、ホッケー等、清水町独自の歴史・文化・風土を伝える機能をもたせたいと思っています。
13	<p>運営（経営）として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意欲のある経営者をつのる ・JA・商工会・町がスポンサーで他からもスポンサーを募る ・公設民営型の店舗。増設可能とする ・積極性のない企業や経営者は良くない。 	今後の検討課題となりますが、経営的なセンスをもった、民間企業者に指定管理することが望ましいと考えています。さらに、単なる営利のみを追求するのではなく、行政と協力しながらまちづくりをすすめてくれる団体が望ましいと考えます。
14	<p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の道の駅の「成功例、失敗例」を参考にして ・徹底的な情報収集に努める（市場調査、交通量調査等） ・魅力的なパンフレットの作成（他市町村のパンフレットに見劣り） ・専門家の意見、観光業界、バス会社等の意見 ・町民アンケート、町外アンケートの実施等 	<p>新年度は、観光協会を始めとする関係団体が情報収集する機会を設けるとともに、アンケート調査等、町民が求める道の駅について、具体像を共有していく予定です。</p> <p>さらに、民間企業やコンサル等の意見も取り入れ、清水町の魅力を発信するために必要な機能を協議いたします。</p>
15	<p>町民会議の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅について町民の意見を十分に聞く（1年～2年）かけて ・町＝行政、議会、町民の理解と納得が必要 	様々なステークホルダーが存在すると想定されるため、関係者だけではなく、消費者目線としての意見を取り入れるため、無作為抽出を含めた、町民の意見を幅広く聞き、対話をする機会を設ける予定です。